

聴覚障害福祉機器展示

平成 23 年 10 月 16 日（日）の本校文化祭の時に、聴覚障害福祉機器展示をします。『補聴器のトーション』に御協力をいただいで行います。聞こえの不自由さを軽減してくれる日常生活の道具を実際に触れたり、体験したりすることができ、使い方の説明や相談にも応じていただけます。また、FM補聴システムの試聴もできます。興味のある方は是非お立ち寄りください。

場 所：北教棟 3 階 高 3 F・1 教室

時 間：11:20～14:00



FM 補聴受信機 J5



FM 補聴受信機 J2

リオン社製



聴覚障害者用屋内信号装置



幼児体験学習の報告

平成 23 年 9 月 15 日（木）に第 2 回幼児体験学習を行いました。校外から幼児 4 名を迎えて楽しく活動しました。授業参観では、幼稚部の朝の会の様子を参観しました。合同保育では、自己紹介、飛行機作り、ゲーム、親子ダンスを行いました。飛行機作りでは、お母さんと一緒に思い思いにシールやマジックで模様を作って飛ばしました。ゲームコーナーではボーリング、鬼退治、おやつつりをしました。子どもたちは先生やお母さんとやり取りをしながら、各ゲームを真剣な目をしながら、して楽しく取り組みました。ダンスも親子で楽しみました。午後からは希望される方に、個別相談や他学部の授業参観を行いました。幼児体験学習を通して聾学校への理解を深めていただくことができました。

補聴器・人工内耳用電池等の共同購入について

補聴器用電池の共同購入をします。（今年度から年 2 回の注文になりました。）締め切りは平成 23 年 11 月 7 日（月）です。電池サイズを御確認の上、御注文ください。今回からゼニパワー社の電池も注文できるようになりました。今までと同じ物を購入したい方はパワーワン社の電池を購入してください。

電池チェッカー、シリカゲル、乾燥ケースも注文できます。



PR44(ゼニパワー)

300 円

PR44(パワーワン)

350 円



サマースクールの報告



幼稚部

本校の幼児4名、教育相談の幼児5名、保護者や兄弟9名の参加がありました。自己紹介では、夏に関する絵の中から自分がしたいことをみんなの前で発表しました。水遊びでは、水鉄砲やシャボン玉、金魚すくい、石けん遊びなど思い思いの遊びを思う存分楽しんでいました。水の掛け合いをしたり、水遊び道具の交換をしたりと楽しい時間を過ごすことができました。今回は初めての試みとしてお弁当の時間にフランクフルト、焼きトウモロコシ、ゼリーすくい、かき氷の屋台を設けました。屋台は好評で、目を輝かせる子どもたち。親子で相談しながら、屋台を回ったり、お店屋さんとのやりとりを楽しんだりしていました。すいか割りはなかなか割れませんでした。みんなで応援をして、割れた時には歓声が上がりました。他の部からの応援もあり、暑い中ではありましたが、子どもたちは最後まで元気いっぱい楽しんでいました。

小学部

聾学校から9人と地域の小学校から10人、合わせて19名の小学生が集まった今年のサマースクール。午前はチーム対抗のゲーム、午後はおはじきやコマ回しなどを楽しみました。始めのジャンケン列車では、まだまだ緊張気味でなかなか友達に声を掛けられない・・・なんてこともありましたが、新聞ジャンケンや輪くぐりなどのゲームをしているうちにたくさんの笑顔が見られ、楽しそうな笑い声も聞こえてきました。ハンカチ落としもドキドキわくわく大興奮。お昼の自由時間も楽しく遊び、午後の昔遊びは時間が足りないと思うほど。とても暑い一日でしたが、元気いっぱい過ごせました。来年もぜひ大勢で楽しく活動しましょう。

中学部

今回のサマースクールは、他校から2名の生徒が参加しました。本校の生徒が6名そして、松山南高校砥部分校の生徒が4名、教員も含め総勢20名でカレーライス作りをしました。出逢いの会が始まるまで少し時間があつたので、他校から参加してくれたD君が、いろんなクイズを出してくれました。緊張した雰囲気がほぐれ、快調なスタートとなりました。その後、2班に分かれて、準備をしました。1班は、買い物、2班はタープ作りと火おこし・・・カレーライス作りでは、作り方を見ながら自分たちで作るということを目標にしていたのですが、要領を得ず、油をしいた後、次に何を入れるか迷っている間に、鍋から煙が出だし、慌てて近くにあつたに肉や野菜を入れました。少々、ハプニングもあつたりしましたが、無事、おいしいカレーにありつけて、みんな大満足でした。・・・たかがカレーされどカレー・・・カレーの奥深さを知った1日だったのではないのでしょうか。みんなで考え、協力し合った今回のサマースクール・・・心に残る楽しい活動になりました。

高等部

昨年度までは、視聴覚福祉センターで行われている「夏休み手話教室」に参加していましたが、今年度は校内で実施しました。残念ながら、参加者は本校生徒1名でしたが、楽しい一日を過ごせました。畑の草引き作業をしながら、取れたてのミニトマトのおいしさに舌鼓を打ちました。次に、畑作業の汗を流そうと、ミニプールで遊んだり、涼んだりして過ごしました。昼食は、お弁当のおにぎりやお寿司をおなかいっぱい食べました。久しぶりの学校は、とても楽しく、笑顔がいっぱいの時間でした。

書籍紹介



『難聴児はどんなことで困るのか?』

木島照夫・菅原仙子、岡野敦子編著

難聴児支援教材研究会発行 700円

難聴児・者はどんなときに困るのか? 本人の立場や親の立場から語られています。意外と知られていない難聴者のきこえの状態や困り感・悩みがリアリティーをもって語られています。また、長い難聴教育の実践者しか知り得ない難聴児のことば指導のポイントが余すところなく掲載されています。

～全国早期支援研究協議会ホームページより～



『なんちょうりかい (難聴理解) かるた』

難聴児支援教材研究会発行 1900円

このかるたは、難聴児と関わりのある先生方、クラスの友だち、保護者の方々などに、難聴児が学校・家庭生活の中で、どんなときに「きこえない・きこえにくい」のか、そしてそのために困ったり不安を感じているのかを知っていただくために作られました。使い方は「かるたとして」はもちろん、1枚1枚の絵を見ながら難聴児がどんなときに困るのか、皆で話し合う「難聴理解授業」の教材としてなど、いろいろな使い方ができます。絵札の裏には、「指文字」とその文字をあらわすものの絵が描かれ、読み札の下には指文字でそのものの名前が指文字とひらがなで書かれていますから、年少児には「指文字かるた」としても使えます。さらに、読み札の裏には障害理解を図るための解説文が書かれていますので、時間のある時にじっくり読んでいただくと難聴理解が深まると思います。

～全国早期支援研究協議会ホームページより～



『パパと一緒にハッピーサイン! 手話で子育てしよう』

全国早期支援研究協議会発行 1500円

会話の中で、自然に手話が学べるお父さんや家族のための手話会話入門書です。

～全国早期支援研究協議会ホームページより～